

東京東江戸川ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区

TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity



RI会長 ジョン・F・ジャーム

地域社会に奉仕するロータリー

Rotary Serving Community



クラブ会長 嶋村 文男

◆例会日◆ 毎週火曜日 12:30~13:30

◆創立◆ 1969年9月18日(日本で951番目)

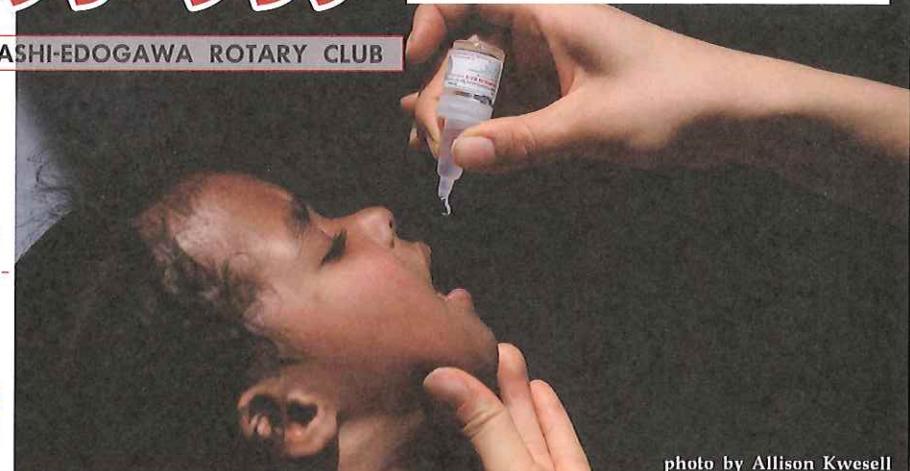


photo by Allison Kwasell

本日の卓話

(紹介者 プログラム委員会)

- 「イニシエーションスピーチ」
メンバー

安池 勇人君

- 「会員満足度アンケート」
(クラブ奉仕委員会)

次回の卓話

(紹介者 一耕君)

- 「ハウスオブジョイ
～フィリピン、ミンダナオ島の孤児院運営現場から～」

ハウス・オブ・ジョイ
澤村 信哉 氏

《11月1日例会報告》

点鐘

国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

来賓紹介

◎ゲスト 2名

橋本豊之氏 (嶋村会長ゲスト)

モートウザチョウさん (米山奨学生)

◎ビジター 0名

以上 2 名



入会記念日祝 多田君 職業奉仕3分間スピーチ 小内君

○2017学年度ロータリー米山奨学生選考面接官委嘱状授与…嶋村君、一耕君



出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
36名	29名	93.55%	100%

会長報告

○米山奨学生・モートウザチョウさんに米山奨学金11
月分お渡し。

幹事報告

○ガバナー月信(11月号)、「ロータリーの友」(11月号)をBOXに配布。

○11月5日(土)PM1:00~(公財)人権教育啓発センターにて、NPO法人ジェントルハートプロジェクト主催・第12回「親の知る権利を求

会長 ◆ 嶋村 文男
副会長 ◆ 城戸 国雄
幹事 ◆ 鹿倉 勇

会報・雑誌委員会 ◆ 石橋正男・多田晃弘・一耕靖人・池田真司
事務局 ◆ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室
TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774
E-mail:e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com

めるシンポジウム」開催。当クラブより、嶋村会長、唐澤社会奉仕委員長、岡村会員、永井会員の4名が出席します。

————例会臨時変更のお知らせ————

- 11月10日(木) ・東京ベイRC
→ 夜間例会(東京江東RCとの合同例会)
・東京江戸川中央RC → 11/11(金) 夜間例会
11月15日(火) ・東京武蔵野RC
→ 移動例会(11/16(水)武蔵野分区IM)

委員会報告

<親睦活動委員会(ゴルフ)>

- ・東分区懇親ゴルフ大会報告。

<会報・雑誌委員会>

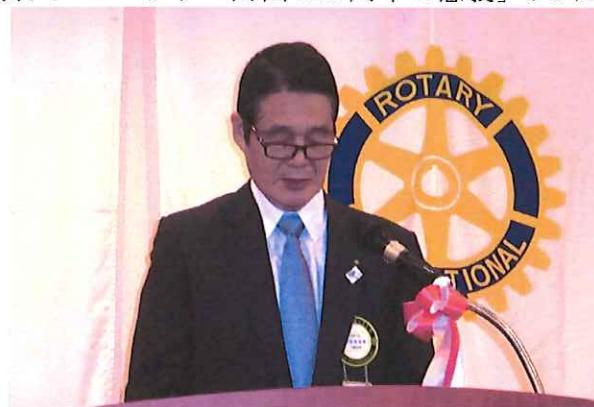
- ・「ロータリーの友」11月号について。

<米山奨学委員会> ・賛助会員ご協力のご報告。

<ローターアクト委員会> ・11月第一例会のご案内。

《卓話》

11月1日の卓話は、メンバー・ロータリー財団委員長・地区ロータリー財団委員会委員、茂手木克央君の「ロータリー財団100周年の意義」でした。



本日入金…¥ 32,000
今期累計…¥ 412,000
基金合計…¥10,387,432

茂手木君より卓話謝礼をニコニコに頂戴いたしました。

ニコニコ情報

- ①本日の卓話、メンバー・ロータリー財団委員長・地区ロータリー財団委員会委員 茂手木克央君の『ロータリー財団100周年の意義』に期待いたします。
②東分区懇親ゴルフ大会に於いて、団体見事第4位の大躍進。なんとRE-5中トップ!個人では鹿倉幹事が第5位に入賞の大活躍でした。

鈴木(義)君、阿部君、須賀君、森本君、猪野君、田村君、岡村君、荻原君、唐澤君…①

本多君…ロングタイムノーザー。お久しぶりです。嶋村君…安池さん今日からよろしく!ゲストの橋本さんをよろしくお願いします。

一樹君…茂手木さん、本日の卓話期待しています!

安池さん、SAA任命よろしくお願ひします!モーさん、橋本さんようこそ!

城戸君…茂手木さん卓話楽しみにしています。

分区ゴルフもう少しでしたね、来年頑張りましょう。

計14名

「会長の時間」のポイント

11月1日 テーマ

ロータリー財団「世界で良いことをしよう」

○今年度はロータリー財団の100周年を祝う年です。

○今から100年前、1917年6月米国ジョージア州アトランタで開催されたロータリ一年次大会で、時の国際ロータリークラブ連合会会長 アーチ・クランフ氏から「世界で良いことをする」ための基金の創立が提案されました。

○最初のスタートは26ドル50セントで、6年経っても基金の残高は600ドルに達していない状況の下、1928年ミネアポリス大会で基金の名称を「ロータリー財団」に改称するに至ります。(ロータリー財団の最初の拠出は、1929年の国際障害児協会への500ドルでした)

○第二次世界大戦後、国際ロータリーは戦争の悲劇をきっかけに、平和構築におけるロータリー財団の潜在能力を真剣に考えるようになり、1947年ポール・ハリスが逝去して以降、ロータリー財団への寄付が増加していった。

○その後、高等教育の為の国際親善奨学金、研究グループ支援「GSE」、マッチンググランド、グローバル補助金、地区補助金、そしてポリオ撲滅活動への注力と「世界で良いことをしよう」というアーチ・クランフのアイデアは進化・発展し続けています。

第5回理事役員会議事録

開催日: 平成28年11月1日(火) AM11:30~

場所: タワーホール船堀2階「藤の間」

出席者: 一樹、猪野、岡村、唐澤、城戸、嶋村多田、田村、塙田、茂手木、鹿倉

(敬称略 五十音順) 11名

決議事項

- (1) 安池会員の所属委員会について

S A A 青少年奉仕委員会で承認
報告事項

- (1) 望年家族会招待客について
- (2) 11/23 会長杯ゴルフコンペについて
- (3) 11/29 第3回クラブフォーラムについて
- (4) ロータリー財団月間(11月)の最初の例会
でお祝いの拍手の件
- (5) その他

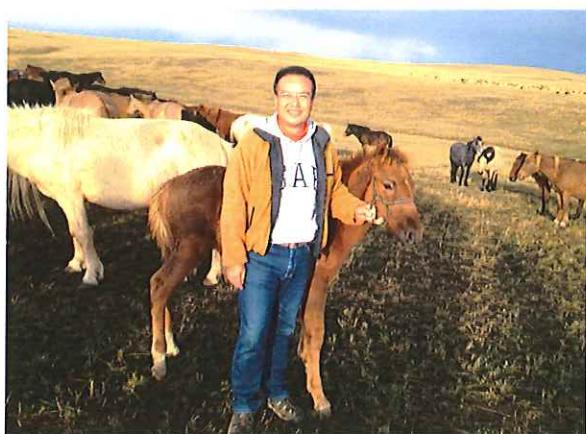
三度目のモンゴル訪問②

メンバー・会長 嶋村文男

3日目(9月23日)は、モンゴル国立民族博物館でモンゴルの歴史を学んでから、再び新モンゴル学園を訪問し生徒たちと同じ給食をいただきました。その味はとても美味しいものでした。そこに昨年7月に学園を訪問した時、歓迎の馬頭琴を演奏してくれたアリオンジャルカルさん(高校2年生)が会いに来てくれて、感激の再会となりました。

彼女が、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの時にボランティアとして参加し人の役に立ちたいと夢と希望を語る姿に、一年経った彼女の成長ぶりに大変驚きました。

午後からは約4時間かけてゴビ砂漠方面に向かい、フレーRCのメンバーのシネバートルさんのファームを見学し、夜は遊牧民として暮らす彼の弟さん一家のゲルでモンゴルの伝統的な料理や馬乳酒の歓待を受け、フレーRCのメンバーも合流し、指遊びや歌を唄うなど中身の濃いモンゴルの夜を過ごし、満天の星空の下、眠りにつきました。翌朝は快晴の清々しい朝をむかえ、羊や牛の群れ眺めながら乗馬をしたり大平原の散歩を楽しみました。



その後、道なき大平原を一路ウランバートルへ3時間程走り、相変わらずのウランバートルの渋滞につかり、5時間近くかかるホテルに戻りました。

少し休憩の後、市場へ買い物してからモンゴル米山学友会(11名)のメンバーとの夕食会に参加しました。6月のソウル国際大会で会ったメンバーも多く、

最後はロータリーソング「手に手つないで」を唄って再会を誓い、モンゴル最後の夜を楽しみ翌朝早く日本へ向けモンゴルを旅立ちました。



三度目のモンゴルでは、青少年の交流の中で教育の大切さを痛感しました。この経験を日本の教育、特に青少年の国際理解の向上に寄与出来る様に努力しようと思いました。感謝。

第4回家庭集会報告

日 時：平成28年10月4日(火) PM6:30～

場 所：ちゃんこ「巴潟」

ホスト：塚田パスト会長

出席者：小野、城戸、小内、鹿倉、嶋村、多田、

塚田、永井、唐澤

(50音順・敬称略) 計9名

10月4日午後6時30分より、塚田パスト会長ホストによる家庭集会が、ちゃんこ「巴潟」で開催されました。

ホストの塚田パスト会長の歓迎の挨拶後、嶋村会長の挨拶、続いて小野パスト会長の乾杯の音頭で家庭集会は始まりました。

塚田パスト会長の挨拶では、初めてホストをされたときは、自宅で行われたとのこと。25人の参加があって盛り上がり、11時まで宴が続いたというエピソードのお話しがありました。



創業40年の伝統のちゃんことお酒を堪能しながら、懇談しました。ホストの塚田パスト会長よ

り、「ロータリーに入って人生がどう変わったか」というテーマでお話するということになりました。みなさんのお話が聞いているうちに、これからのことを見浮かべて、ワクワクしていました。中でも、印象に残ったお話しを記載しますと、

○日本全国、そして世界中に訪問しても、私たちを受け入れてもらえ、交流ができることが楽しい。そのために、出張の際の打合せは14時にしているとのこと。

○ロータリーに入会していなかったら経験できないことが、経験できた。

○平凡な毎日を過ごしている閉塞感が、充実感に変わった。

○人とのつながり、縁が広がる。人の出会いがまた出会いを呼ぶ。しかし、自分から外に出て行かないといつも出会いは生まれない。

○謙虚な気持ちになれること。

○奉仕の考え方を学び、さらにそれを実践できる機会も与えられていること。などがありました。

また、今回の家庭集会は、親睦家族旅行に参加された方が多かったので、旅行の感想を話しました。地元のロータリーの方と交流ができた。自然にたくさん触れることができた、美味しい料理とお酒を満喫できた。2日間笑いが溢れて楽しかったなどのお話をありました。

会話は尽きませんでしたが、楽しいひと時はあつという間に過ぎ去り、8時30分を過ぎたところで、城戸副会長による中締めで閉会となりました。

ホストの塚田パスト会長ありがとうございました。またご参加者の皆様ありがとうございました。



(記：唐澤正樹)

臨時理事役員会議事録

(持ち回り)

日時：平成28年9月28日（水）

議題：新会員入会の件（安池勇人氏）

承認

【ポール・ハリス・フェローの認証】

ポール・ハリス・フェローとは、国際ロータリーのロータリー財団に1,000米ドル以上の寄付をした人、または名義人を称える認証です。

ポール・ハリス・フェローの認証は、1957年、当時唯一の財団プログラムであり、国際親善奨学金の前身となった「Rotary Foundation Fellowships for Advanced Study（高等教育のためのロータリー財団フェローシップ）」への寄付に対する謝意を示し、さらなる支援を向上させるために設立されました。

最初にフェローとして認証された人物には、アリソン G. ブラッッシュ 1937-38年度 RI 理事や、長期にわたって RI 財務長を務めたルーファス F. チャピング財務長などが含まれ、両氏ともに1946年に寄付を行いました。1953年には、アダン・バルガスさんが、女性として初めて認証を受け、1957年には2人目の女性としてハリー L. ジョーンズさんが認証されました。ジョーンズさんは、同年5人のみであった認証受領者の一人でした。

初期のポール・ハリス・フェローには表彰状が授与されていましたが、1969年にハワイで行われたホノルル国際大会を皮切りに、メダルの贈呈が行われるようになりました。このメダルは、当時の財団管理委員であった湯浅恭三氏のもと、日本人のメタルアーチストであるフィジュー・ツダさんによってデザインされました。今日、ポール・ハリス・フェローには表彰状とピンが贈呈され、メダルは任意で購入するというかたちになっています。

ロータリアンは、ほかの個人に感謝の意や敬意を示すために、ロータリー財団に寄付する伝統をもっています。

（R I ホームページより抜粋）

* 11月 お祝いコーナー *

メンバー誕生日祝

小佐田君（9日）

唐澤君（23日）

奥様誕生日祝

小佐田君（8日）

須賀君（14日）

阿部君（15日）

池田君（30日）

結婚記念日祝

小野君（1日）

須賀君（8日）

森本君（9日）

嶋村君（10日）

池田君（17日）

荻原君（25日）

入会記念日祝

多田君（3年）

池田君（1年）